

中小企業の化学物質自律的管理体制構築に関する新たな取り組み

公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター（東京都新宿区）の所属医師：榎本光紀（産業医、オキュペイショナルハイジニスト資格所持）が2025年5月14～17日に開催された「第98回日本産業衛生学会」（会場：仙台国際センター・東北大学他 宮城県内）にて、ポスター発表を行いました。

【背景】 2024年4月、日本において化学物質の自律的管理が全面的に施行されました。この新しい法規制により、化学物質管理者や作業環境管理専門家の要件が定められ、特に化学物質管理専門家は指導的役割を担うことが期待されています。しかし、オキュペイショナルハイジニスト資格を持つ専門家の数は非常に少なく、特に中小企業における対応が課題となっています。

【概要】 本研究は、製造業中小企業の化学物質自律的管理体制構築を支援する取り組みについて報告します。対象企業は金属部品加工を主業とする会社で、従業員は関東工場が約70名、東北工場が約50名です。

【方法】 産業医としての業務と並行して、化学物質の自律的管理体制を構築しました。具体的には、SDS（安全データシート）の収集・確認、化学物質管理者の選任と教育訓練、リスクアセスメントの実施を行いました。

【結果と考察】 SDSの最新版収集や内容成分表記の確認、化学物質管理者の教育訓練を通じて、化学物質の自律的管理体制を整備しました。また、リスクアセスメントツール「クリエイトシンプル」の使用においても、適切な入力と結果判定の重要性を確認しました。

【今後の展望】 現在、リスクアセスメント対応が進行中であり、今後も進捗を継続的に報告予定です。

*オキュペイショナルハイジニストは、職場における化学物質や物理的・生物的要因による健康リスクを評価し、管理する専門家です。国際的には、IOHA (International Occupational Hygiene Association) が認証する育成プログラムを修了することで資格を取得できます。

【公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンターについて】

当法人は1984年に国民保健の維持向上に寄与することを目的として設立されました。こころと身体の総合健康サービスを提供している健診機関だからこそできる、充実した産業医サービスをご提供いたします。

〈本件に関する問合せ先〉

公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター 健康増進センター メンタルヘルス企画グループ

担当：田淵、中野

メール：toiawase-hp@phrf.jp 電話：03-5287-5168